



(上・下右) 東北楽天ゴールデンイーグルスのユニフォームを着て発表する山口さん(中下) 南三陸町の震災被害と漁業の復興について学んだことを話す後藤さん(下左) 農業支援と持続可能性の関連について考察を示す溝口さん



参加者の声 未来に目を向ける機会に

高校生が職場体験の経験をSDGsの考え方に結びつけて分かりやすく発表していることに感銘を受けました。将来の社会のことを考えて行動しようとしている若者の姿勢に触れ、自分もあらためて未来に目を向けて今の行動を見直してみようと思いました。



高速 高橋篤さん

みやぎSDGs塾って?

国連が提唱する「SDGs(持続可能な開発目標)」を軸に企業や個人が連携し、豊かな地域づくりを目指す取り組み「みやぎSDGsファーム」の基幹プログラム。SDGs活動を推進する人材「みやぎSDGsアンバサダー」を養成する「標準コース」と、具体的な事例の発展に向けて議論する「実践コース」の2講座が開講され、2021年から河北新報社が運営しています。

参加はこちらから!



賛同企業 募集中!!

公式HP およろすぐ お願いします

[申し込み・問い合わせ]
河北新報社営業局
TEL / 022-211-1318
MAIL / koukoku@po.kahoku.co.jp

実践コース 「みやぎSDGs塾」メンバーの実践をもとにディスカッション



それぞれの企業・団体の取り組みについて意見を交わし合う「みやぎSDGs塾・実践コース」参加メンバー

「みやぎSDGs塾・実践コース」では毎回、参加者の所属先や参加者個人のSDGs関連の取り組みを紹介し合い、さらなる課題解決に向けたアプローチについてディスカッションしています。

今回の「実践コース」では日建リース工業の藤澤海人さんが、同社が今年に名取市に開設予定の「はーとふる農園」について紹介しました。「はーとふる農園」は、障害のある人がやりがいを持って農作業に動むことのできる場を創出するとともに、障害のある人と障害者雇用を進める企業とのマッチングを行う施設です。藤澤さんは「利用希望者が実習を始めるなど本格稼働に向けて順調に進んでいる」と話し、「ぜひ見学に来てほしい」と他のメンバーに呼びかけました。

またこの日は「SDGs塾」に参加した社員が連携して社内啓発を進めている「(山本)本郷友恵さん」、「タイハクのミキサー車に宮城県の観光写真などを掲載する構想が進んでいる」(宮城県総合政策課・佐藤洋平さん)など「SDGs塾」がきっかけとなって大きな前進が見られる事例の報告も多くありました。

SDGsを通じて世代間交流

2月20日、「みやぎSDGs塾」第3ターム前期・第4回の標準コース実践コースの講座が河北新報社で実施されました。標準コースでは3人の高校生が、SDGsの観点を重視した探究活動の成果を発表しました。

高校生の発表に感銘

仙台市立仙台高等学校では「総合的な探究の時間」を活用し、SDGsの目標に関連付けたテーマに基づく探究学習を実施しています。今回の「みやぎSDGs塾」では同校の1年生3人が、SDGsの視点で臨んだ職場研修の成果を発表しました。

震災復興と地域の未来を考える

後藤乙花さんは、南三陸町で海産物を販売する「たみこの海バック」で研修しました。海産物加工などの体験を通して南三陸の海の豊かさを実感する一方、東日本大震災の被害、震災後に地元漁師が養殖業を復興させてきた過程などについて学んだという後藤さん。

自身の暮らす地域に高齢者が多く土砂崩れの危険があることも踏まえ、将来は看護師となつて地域で働きながら、地域の人の交流を維持することによって防災・減災に貢献したいと話しました。



農業支援の取り組みに学ぶ

溝口心優さんの研修先は仙台市太白区の「秋保ヴィレッジ」。お茶の井ヶ田が運営する複合施設で、農産物直売所などを備えます。溝口さんは、農業の支援を通して和食文化の再興を図ることとお茶の市場拡大を目指すという同施設のねらいを説明。

持続・発展できる企業経営とは

山口愛咲子さんは父親が経営する燃料店をさらに発展させるには、というテーマを掲げ、楽天モバイルパーク宮城で研修に臨みました。発表では、女性客の増加をねらう「イーグルスガールデー」など幅広い層の顧客獲得を目指す同施設の試みを紹介。

さらに、東北6県の小学1年生に野球帽をプレゼントする楽天球団の取り組みについても触れ、「地域の人の関わりを大切にしながら、事業の内容を変えていくことが大事だと感じた」と締めくくりました。



高校生の発表に耳を傾ける参加者。「プレゼンテーションの完成度が高かった」と驚く声が多く聞かれました

各方面の取り組み前進

第3ターム参加者(敬称略)

【あすなろ学院】佐々木陵太、齋藤学【荒町商店街振興組合】庄子康一【YES工房】大森丈広【エントワデザイン】佐藤寛和【オフィス塩竈】加藤貴伸【環境再生保全機構】【高速】高橋篤【国分東北】佐藤祐【スタイルグループ】千田佳子【ソーシーブルソリューションズ/多賀城工場地帯連絡協議会】大谷哲也【タイハク】長坂孝裕、南條世紀【竹鶏ファーム】赤淵利恵【蜂屋食品】蜂屋和彦【大日本印刷】阿部巧、矢島迅人、森勇大、小泉一也【日建リース工業】工藤雅人、鈴木健太郎、藤澤海人【フクダ・アンド・パートナーズ】加藤祐、阿部真美【松島蒲鉾本舗】葛西健太郎【宮城県民共済生活協同組合】草薙聖樹、遠藤早織、長谷朋佳、佐山道大、鈴木良太、長牛麻美【ミライトス】鈴木圭介【山一地所】原田千純、熊谷健太郎【山本】高橋拓宏、本郷友恵、三上明子【WACO CREATE】岩村和哉、岩村優香【個人】千葉よかこ【尚網学院大学】大沼晃太郎、猪野拓歩【宮城大学フードサービス論研究室】齋藤真里奈、曾根咲桜、高屋奏太、永澤美咲、由比一光【オブザーバー】紅邑晶子、高橋好郎、高浦康有

賛同企業・団体・個人

宮城県民共済グループ SUIKOO 大日本印刷 DNP ERCA 尚網学院大学 日本製紙株式会社

みやぎ生協 山一地所 yamadai あすなろ学院 エントワデザイン 株式会社 高速 国分東北

STYLE GROUP 竹鶏ファーム 日建リース工業株式会社 蜂屋食品 F&P 株式会社 松島蒲鉾本舗

荒町商店街振興組合 YES工房 オフィス塩竈 多賀城工場地帯連絡協議会 WACO CREATE 千葉よかこ

特別協力 SDGsとうほく 協力 宮城県 JICA東北 尚網学院大学SDGsセンター 宮城大学フードサービス論研究室